

ガステーブル

P-3VF7-L

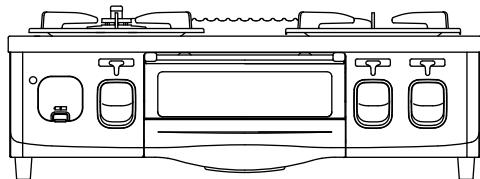
P-3VF7-R



取扱説明書

このたびはガステーブルをお求めいただきまして、ありがとうございます。

 TOHO GAS



- 正しく安全にお使いいただくために、ご使用前にこの「取扱説明書」を必ず最初から順番にお読みいただき、よく理解してくださるようお願いいたします。また、この「取扱説明書」をいつでもすぐに取り出せるところに大切に保管しておいてください。
- この「取扱説明書」に書かれている内容以外ではご使用にならないでください。

取扱説明書を紛失された場合は裏表紙に記載のお近くの東邦ガス営業所までお問い合わせください。

お使いの前に

使いかた

お点手入れ

故障?

サービス

各部のなまえ ······ 1

必ずお守りください ······ 2

設置について ······ 6

こんろの使いかた ······ 9

おしらせサインについて ··· 13

グリルの使いかた ······ 14

点検とお手入れ ······ 16

故障かな?と思ったら ······ 20

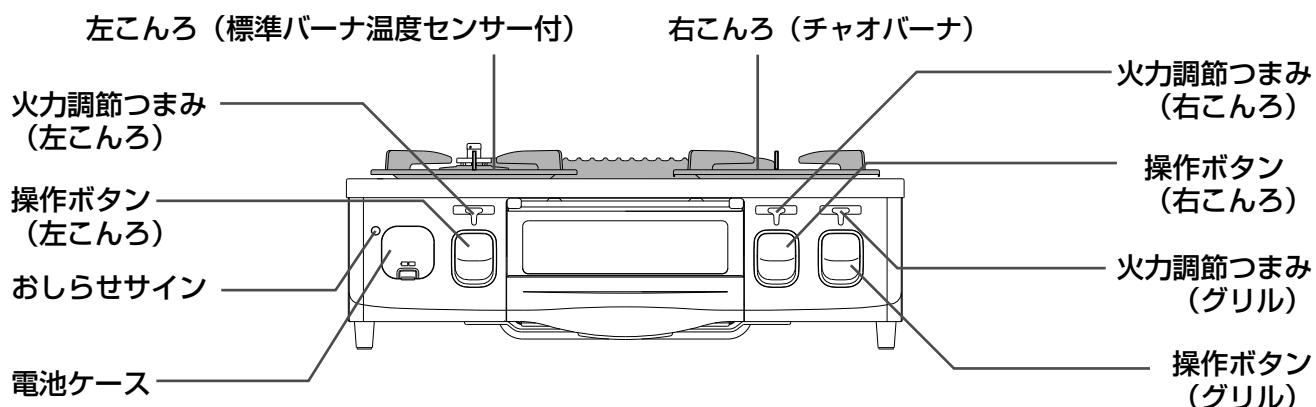
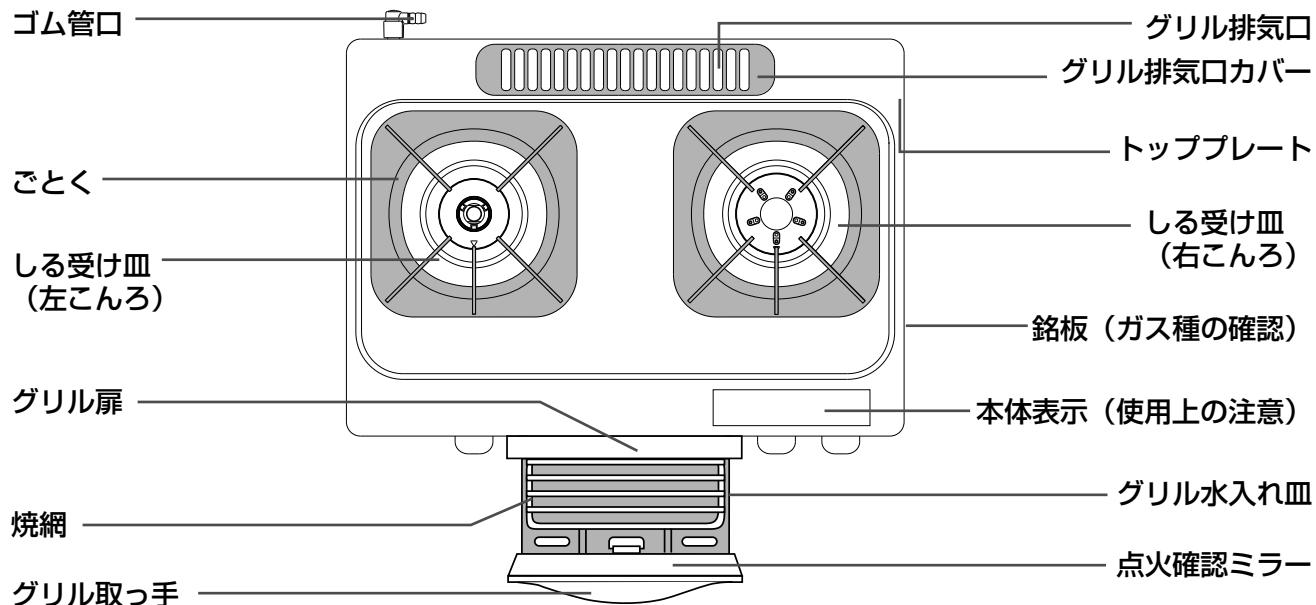
保管とアフターサービス ··· 21

仕様 ······ 21

保証書 ······ 22

各部のなまえ

取扱説明書中の図は、P-3VF7-Rのご紹介となっております。
P-3VF7-Lはチャオバーナが左、標準バーナが右についています。



特長1 調理油過熱防止機能&焦げつき消火機能（標準バーナ）

調理油の過熱と煮物等の焦げつきを防止するため、温度センサーが消火温度になると自動的にガスを止めます。

特長2 フレームトラップ（排気口遮炎装置）

万一、グリル庫内で炎が上がっても、フレームトラップがグリル排気口より炎があふれ出すのを抑制し、火災を未然に防ぎます。

特長3 消し忘れタイマー（全てのバーナ【こんろ、グリル】）

万一の消し忘れのために、点火後、標準バーナは約120分、チャオバーナは約60分、グリルは約22分で自動的にガスを止めます。

特長4 ガス代節約型エコノバーナ

従来のコンロに比べ、熱効率が高いのでガス代を節約できます。

必ずお守りください

<安全に正しくお使いいただくために>

製品を正しくお使いいただくためや、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにこの取扱説明書および製品への表示では、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようにになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

危険	この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
警告	この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が障害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示について次のような意味があります。



一般的な禁止



分解禁止



火気禁止



接触禁止



必ず行う

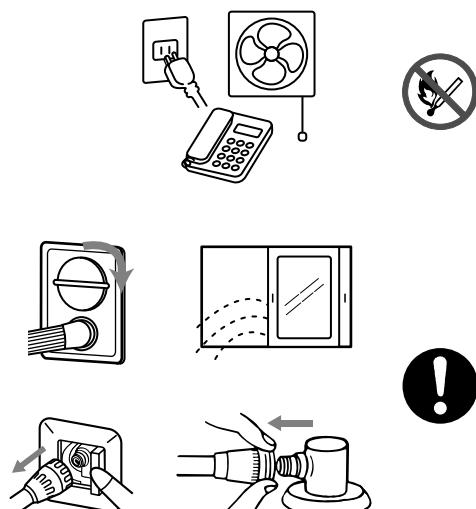
△危険

■ガス漏れ時の使用厳禁

ガス漏れに気付いたときは、ガス事業者の処置が終るまでの間、絶対に火をつけたり、電気器具（換気扇その他）のスイッチの入・切や電源プラグの抜き差しおよび周辺の電話を使用しない

→炎や火花で引火し爆発事故を起こすことがあります。

- ①すぐに使用をやめ、ガス栓を閉める
(つまみのないガス栓の場合は、ガス栓から接続具をはずす)
- ②窓や戸を開け、ガスを外へ出す
- ③お近くの東邦ガス営業所まで連絡する
(周辺の電話を使用しない)



必ずお守りください
各部のなまえ

必ずお守りください



■分解禁止

修理技術者以外の人は絶対に分解したり修理・改
造は行わない

→発火したり、異常作動してけがの原因となります。



■使用ガスについて

機器の銘板に表示してあるガス種（ガスグループ）
の適合を確認する

→表示のガス種が一致しないと不完全燃焼による一
酸化炭素中毒になったり、爆発着火でやけどをし
たり、機器が故障する場合があります。特に転居
した場合は必ずガス種が一致しているか確認して
ください。

おわかりにならない場合または合っていない場合は
お買い上げの販売店かお近くの東邦ガス営業所まで
ご連絡ください。



ガス種を確認する

型式名	都市ガス用
ガスグループ	ガス消費量
製造年・月・製造番号	製造事業者名

■火災予防

機器の周囲に可燃物（カーテン、新聞紙、紙袋な
ど）や引火物（スプレー缶など）を置かない、近
づけない

* 機器の下に新聞紙やビニールシートなどの可燃物
を敷かないでください。

→火災の原因になります。

スプレー缶の場合は熱でスプレー缶の圧力が上
がり爆発するおそれがあります。

グリル使用中、グリル排気口の上にタオル、ふき
んなどをのせない

→火災や不完全燃焼の原因になります。



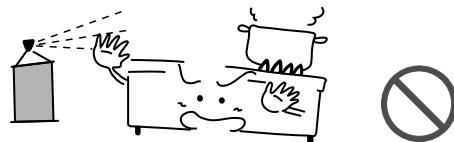
火をつけたまま機器から絶対に離れない

→特に揚げもののときは火災のおそれがあります。



機器の周囲ではガソリン、ベンジン、スプレーな
ど引火のおそれのあるものを使用しない

→火災の原因になります。



■ガス接続

ゴム管はガス用ゴム管(検査合格マークまたはJIS
マーク入り)を使用し、赤線まで差し込んでゴム
管止めでしっかりと止める

ガスコードご使用の場合は、スリムプラグおよび
ガスコードの取扱説明書に従って、正しく接続す
る

- ①継ぎ足しや二又分岐は絶対にしない
- ②機器の上や下を通したり、機器に触れないよう
にする
- ③他の熱源などの高温部に触れない
- ④折れ、ねじれ、引っ張りなどのないようにする
- ⑤接続口に汚れやごみがないようにする

→正しく接続されないとガス漏れの原因になります。



ゴム管はときどき点検して取り替える

→古くなるとひび割れや差し込み口がゆるくなっ
てガス漏れの原因になります。

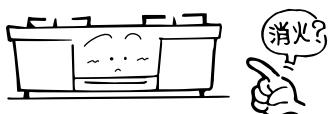


⚠️警告

■消火の確認

使用後は消火を確かめ、外出・就寝時にはガス栓を閉める

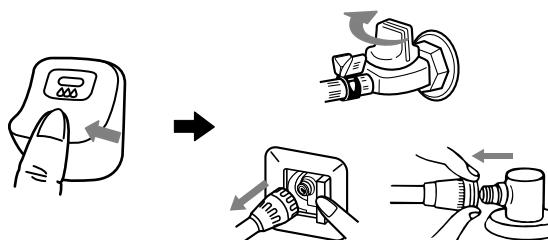
*特にグリルは消し忘れをしやすいので機器から離れるときは必ず消火を確かめてください。



■異常時の処置

- ①点火しない場合または、使用中に異常な燃焼、臭気、異常音を感じた場合、使用途中で消火した場合は迅速に使用を中止し、ガス栓を閉める
(つまみのないガス栓の場合は、ガス栓から接続具をはずす)
- ②「故障かな?と思ったら」(20ページ)に従い処置する
- ③上記の処置をしても直らないときは使用を中止し、お買い上げの販売店かお近くの東邦ガス営業所まで連絡する

地震、火災などの緊急の場合は、迅速に使用を中止し、ガス栓を閉める



⚠️注意

■換気に注意

閉めきった部屋で長時間使用しない
使用中は窓を開けるか換気扇を回す

→一酸化炭素中毒の原因になります。
また、ストーブなど他の燃焼機器を長時間使用している部屋でお使いの場合は、点火しにくかったり、正常に燃焼しない場合があります。
*自然排気式給湯器および風呂釜を同時に使用する場合は、換気扇を回さず窓などを開けて換気してください。換気扇を回すと自然排気式給湯器および風呂釜の排気ガスが屋内に流れ込むおそれがあります。



こんろを覆うような大きな鉄板類やなべ、焼網は使わない

→不完全燃焼や機器の異常過熱、ごとくの変形、トッププレートの損傷の原因になります。

ごとくをはずしてなべなどを直接こんろにおいて使わない

→不完全燃焼や機器焼損のおそれがあります。

グリル庫内に食品屑やふきんなどがないようにする

*取り除く際はケガをしないように注意してください。

→使用中に燃えることがあります。

ごとくに安定してのるなべを使用する

→底がすべりやすいなべ、径の小さいなべなど不安定ななべは使用しないでください。傾いてやけどのおそれがあります。

脂の出る料理にはグリル焼網の上や下にアルミ箔を敷かない

→アルミ箔にたまつた脂や、調理物が燃えて機器焼損の原因になります。



■用途について

調理以外の用途には使わない

→過熱・異常燃焼による焼損や火災の原因になります。

グリル水入れ皿に水以外のものは入れない

→機器の損傷の原因になります。また、グリル水入れ皿が異常に過熱されて膨張し、出し入れする際にグリル庫内に擦れて重く感じたり、ホーローを傷めることができます。



必ずお守りください

必ずお守りください

△注意

■用途について

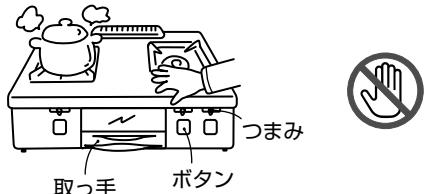
万一、グリル使用中に調理物や脂に火がついたときは、火が消えるまでグリルを引き出さない
→炎があふれ出して、火災ややけどをするおそれがあります。



■やけどに注意

使用中や使用直後は操作部(つまみ・ボタン類、グリル取っ手)以外は触らない

→機器本体とその周辺および調理道具が熱くなるため、やけどをするおそれがあります。
*特に小さなお子様がいる家庭では注意してください。



グリル使用中はグリル排気口に手や顔を近づけたりなべの取っ手等を向けたりしない

→高温の排気熱が出ているため、やけどや取っ手が破損をするおそれがあります。

使用中はバーナ付近に触れないように注意する

→衣服に炎が移ったりする場合があります。

点火操作時はバーナ付近に顔を近づけ過ぎない

→熱や炎でやけどをするおそれがあります。

強火で使用する場合なべの取っ手に炎があたらないように火力を調節する

→やけどのおそれやなべの取っ手の破損の原因になります。

使用中・使用直後はグリル水入れ皿を勢いよく引き出さない

持ち運びするときは中の水がこぼれないように注意する

→水が高温になっているためやけどをするおそれがあります。

■使用中・使用直後は機器を移動させない

→こんろ上の調理物などが倒れてやけどをするおそれがあります。



この機器の点火装置以外の方法では点火しない

→やけどをするおそれがあります。



■子供に対する注意

幼児や小さな子供に触らせないように注意する

→思わぬ事故の原因になります。



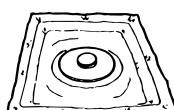
■補修用性能部品および補助具について

補修用性能部品および補助具は当社の純正部品以外は使わない

→当社の純正部品以外のものを使用した場合の機器の故障、事故については、当社では責任を負いかねます。

しる受け皿の上に市販のアルミ箔製のしる受け皿をのせない

→異常燃焼のおそれがあります。また、トッププレートの変色の原因にもなります。



■不安定な場所での使用禁止

車両や船舶などの不安定な場所で使用しない

→事故や故障の原因になります。



おねがい

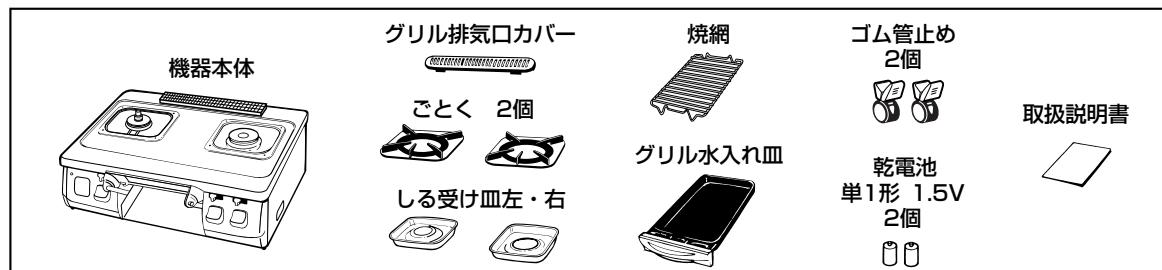
- この製品は家庭用ですので業務用のような使用をすると機器の寿命が著しく短くなります。
- 本機器は乾電池を使用していますので、大型ゴミなどで廃棄される場合は、必ず乾電池を取りはずしてください。そのままにしておきますと思わぬ事故になることがあります。

設置について

1部品のセット

①箱から機器を取り出し、あて紙、梱包部材、テープを取り除く

②同梱部品の確認をする



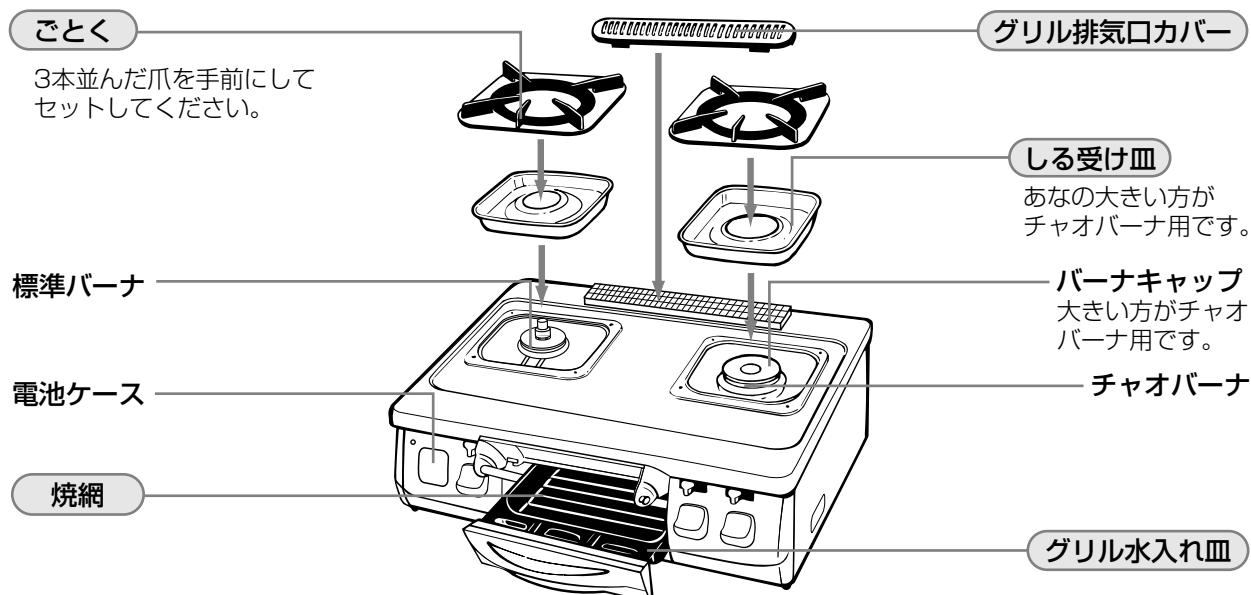
③各部品をセットする

図はP-3VF7-R（左側壁設置）のご紹介となっております。

P-3VF7-L（右側壁設置）はチャオバーナが左、標準バーナが右側になります。

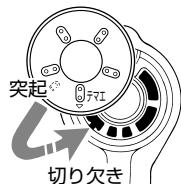


標準バーナ側を壁側に設置する
*壁側の火災を防止するためです。



バーナキャップのセット

バーナキャップ上面の△印をテマ工にして突起を切り欠きにはめる



浮き・傾きのないようにセットする
→不完全燃焼や火災の原因になります。



しる受け皿のセット

あなたの大きい方をチャオバーナ（大きい方のバーナ）側に、小さい方を標準バーナ側にセットする



左右を間違えないように正しくセットする

*特にチャオバーナ側にあなたの小さい方のしる受け皿をセットしないでください。

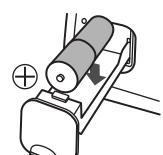


→不完全燃焼や火災、故障の原因になります。

乾電池のセット（アルカリ乾電池 単1形 1.5V 2個）



①電池ケースのツメを上げながら手前に引く



②乾電池の+側を手前にして入れる



③電池ケースを奥までしっかり入れる

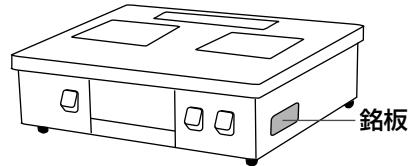
おねがい

乾電池は新しいものと古いもの、または違う種類のものを混ぜて使わないでください。寿命が短くなりますし、乾電池が液漏れすることがあります。

設置について

2 ガス種の確認

- ①ご家庭のガスの種類と機器の銘板に表示されているガスの種類が合っているか確かめる
- ②合っていない場合は設置をやめて、お買い上げの販売店かお近くの東邦ガス営業所まで連絡する



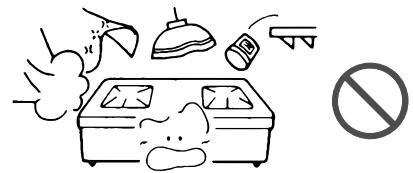
3 設置場所

一酸化炭素中毒や火災、やけどの原因となりますので正しく設置してください。



下記の条件を満たしている場所をお選びください。

- 換気が良い
- 水平で安定している
- 落下物の危険がない
- 周囲に可燃物がない
- 風が吹き込まない
- 水や熱がかからない



4 防火措置

各地の火災予防条例に従って防火措置を行ってください。



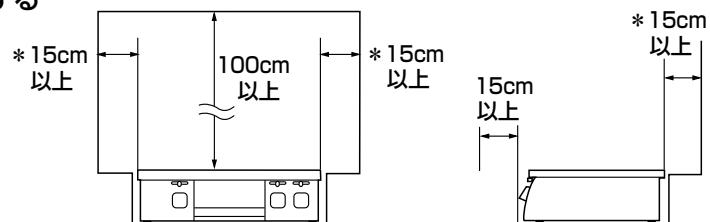
ステンレス板や薄いタイルなどの不燃材を可燃性の壁に直接貼り付けた場合でも、下記①、②の防火措置を必ず行う

→伝熱により長年の間に可燃物が炭化し、火災になることがあります。

*設置後に、機器の周囲の改装をする場合も設置基準をお守りください。

①可燃物（壁、棚など）から十分離して設置する

*トッププレート上方の周囲

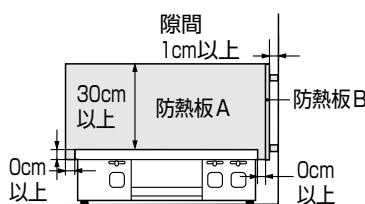


② ①の条件を満たせない場合は防熱板を取り付ける

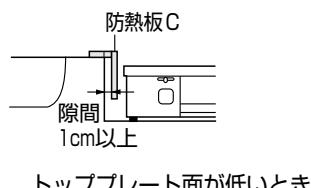
別売の防熱板A、B、Cまたは金属以外の厚さ3mm以上の不燃材を図のように取り付けてください。
ご購入に際してはお近くの東邦ガス営業所までお問い合わせください。

(防熱板A,Bは壁との隙間が20mm必要で、取り付け方法は壁にネジ止めとなります。)

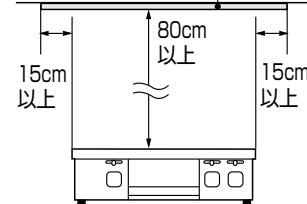
●側面・背面



●流し台などの側面

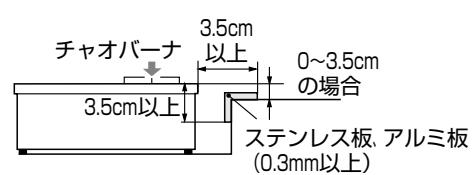


●上方



③チャオバーナ側の防火措置をする

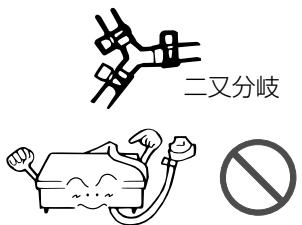
可燃性の調理台・流し台などが、トッププレートと同じ高さまたは低い場合でもチャオバーナ側を密着設置する場合は図のように保護してください。



5 接続のしかた

⚠️警告

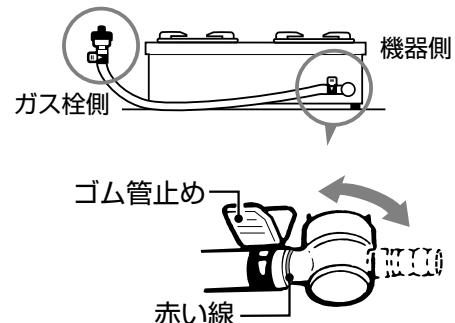
- 継ぎ足しや二又分岐は絶対にしない
- 機器の上や下を通してはいけない
- 他の熱源などの高温部に触れない
→正しく接続されないとガス漏れや火災の原因になります。
- 折れ、ねじれ、引張りなどないように
- 接続口に汚れやごみがないように



ゴム管接続の場合

用意するもの：Φ9.5mmガス用ゴム管(新品)1本 ゴム管止め2個
(都市ガス用をお選びください。)

- ①ゴム管を機器に触れないように適切な長さに切る
(使用するゴム管の長さは、3m以下にしてください。臨時的に、季節的に使用する場合でも5m以下にしてください。)
- ②両方のゴム管口の赤い線までゴム管を差し込みゴム管止めで止める
- ③ガス栓を開け接続部からガスの臭いがしないことを確かめ、ガス栓を閉める

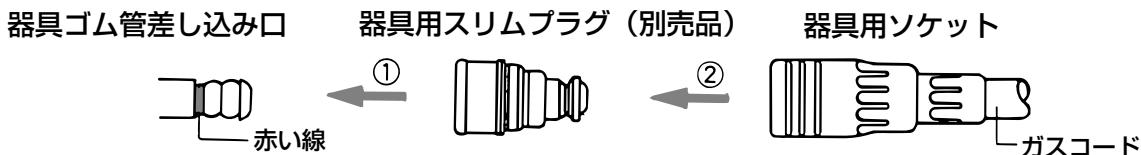


ガスコード接続の場合

- *ガスコードを接続する場合は、ガス栓側がコンセントになっていないと接続できません。
従来のガス栓で使用する場合は、別売のガス栓用プラグが必要です。
- *ガスコードはインプット(ガス消費量)の制限がありますので、2m以下の長さのものをお使いください。

ガス機器側の接続

- ①下図のように、まず別売の器具用スリムプラグを機器のゴム管差し込み口に取り付ける
- ②次にガスコードの器具用ソケットを器具用スリムプラグに“カチッ”と音がするまで差し込む
(器具用スリムプラグに同梱してある取扱説明書に従ってください。)

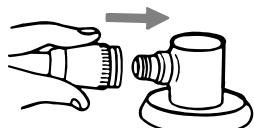


ガス栓側の接続

(ガス栓がガステーブル用であることを確認してください。)

①ガス栓を開けるとき

コンセント継手を“カチッ”と音がするまで確実に差し込む



②ガス栓を閉めるとき

コンセント継手のすべりリング(白色)を手前に引く



- コンセント継手を差し込むとガスが開きます。

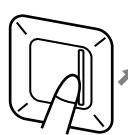
- コンセント継手がはずれるとガス栓が閉まります。

ガスコンセントについて

「ガスコンセント」は、ガスコード等を取り付けると自動的に開栓し、取りはずすと自動的に閉栓します。

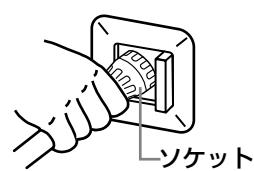
●フタを開ける

ガスコード等を接続するときは、まずフタの右端を押し、フタを開ける



●取り付ける

ガスコード等のガス栓用ソケット側をガスコンセントに“カチッ”と音がするまで差し込む



●取りはずす

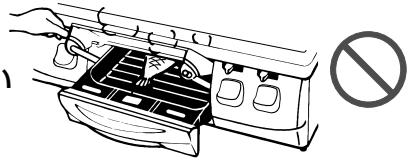
ソケットをはずすときは右側にあるフタを押す



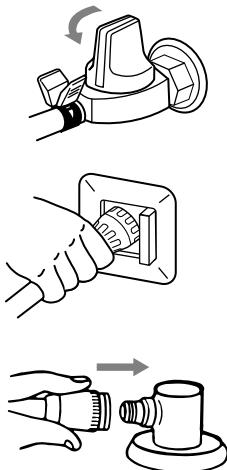
こんろの使いかた

△注意

グリル使用中、使用直後にグリル扉を開けた状態でこんろ操作をしない
→熱くなったグリル扉に手が触れてやけどをするおそれがあります。



1 準備



①操作ボタンが押されていないことを確かめる

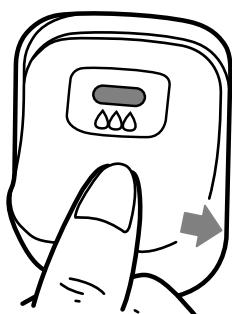
②ガス栓を全開にする

つまみのないガス栓の場合は、接続具をガス栓に”カチッ”と音がするまで差し込む（前ページ参照）

おねがい

●鉄板や焼網の使用はトッププレートをいためる原因になります。

2 点火



カラーサイン:赤

①操作ボタンをゆっくりいっぱいまで押し、そのまま数秒間押し続ける

- ボタンはいっぱいまで押さないと点火しません。
- パチパチと音がして点火します。（こんろとグリル同時に放電）
- 火力調節つまみが弱火側にある時に点火操作すると、つまみは強の方向へ自動的に移動します。

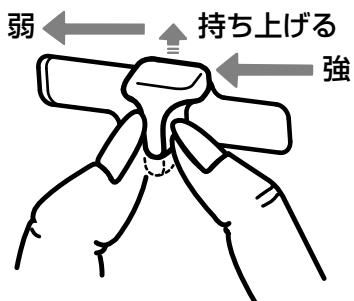
②手を離しても点火していることを確認する

- カラーサインは操作ボタンの状態を示します。操作ボタンが押してあるときは「赤」に、押していないときは「白」に変わります。

おねがい

- なべに付いた水滴はふき取ってからごとくにのせてください。余分な熱が必要になるうえ、水滴がバーナに落ちて目づまりし、点火不良になることもあります。
- なべをごとくにのせてから点火したほうがより点火が確実になります。
- 手を離すと消火する場合は押し時間の不足です。操作ボタンを戻して周囲にガスがなくなるの待ってから、再度点火操作し、押し時間を長くしてください。
- 初めて使うときやしばらく使わなかったときなど点火しにくい場合があります。ゴム管内に空気が入っているためです。繰り返し点火操作してください。

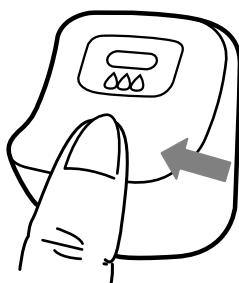
3火力調節



①炎を見ながらつまみをゆっくり動かす

- 強火から弱火にする時、つまみは中ほどでいったん止まります。さらに弱火にするとときは少し持ち上げて左に動かしてください。
- 勢いよくつまみを「強」から「弱」に動かすと、消火することがあります。
- 使用中もときどき燃焼を確かめてください。

4消火



①操作ボタンを押す

- 消火を確かめてください。

②ガス栓を閉める

*燃焼中、ガス栓を操作しての消火はしないでください。

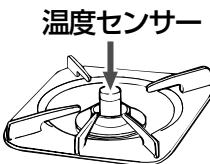
■ こんろには次の安全装置が付いています。

安全装置の種類	機能説明	処置方法（消火に気づいたときは…）
立消え安全装置 全てのこんろ (チャオバーナ) (標準バーナ)	風や煮こぼれなどで炎が消えたときに自動的にガスを止めます。	すぐに操作ボタンを押して消火状態にしてください。炎が消えてからガスが止まるまでしばらく時間がかかります。再点火するときは周囲にガスがなくなるのを待ってください。
消し忘れタイマー 全てのこんろ (チャオバーナ) (標準バーナ)	万一の消し忘れのために、点火後チャオバーナは約60分、標準バーナは約120分経過すると自動的にガスを止めます。 (おしらせサイン…1回点滅)	操作ボタンを押して消火状態にしてください。

温度センサー付バーナを使うとき



標準バーナ(温度センサー付)には次の安全装置がついています。
左図のマークが貼ってある方のバーナです。



安全装置の種類	機能説明	処置方法(消火に気づいたときは…)
調理油過熱防止機能 標準バーナ (温度センサー付)	調理油が過熱による発火をする前に自動的にガスを止めます。 (おしらせサイン…2回点滅)	操作ボタンを消火状態にし、油の温度が適温になるまでそのままお待ちください。 *なべや調理によっては途中で消火する場合があります。このようなとき、揚げもの以外の調理の場合は、チャオバーナをお使いください。
焦げつき消火機能 標準バーナ (温度センサー付)	煮物等の調理中になべ底が焦げつき始めたら、自動的にガスを止めます。 (おしらせサイン…2回点滅)	操作ボタンを消火状態にします。再点火時は更に焦げつきやすくなりますのでようすを見ながら調理してください。 *なべや調理によっては途中で消火する場合があります。このようなときはチャオバーナをお使いください。

●温度センサーを正しく作動させるためにお守りください

特に揚げもの調理時にお守りいただけなければ天ぷら油の過熱による発火を防止できないことがあります。



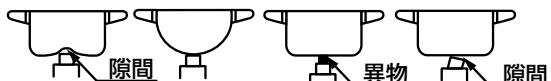
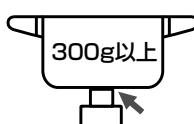
揚げもの調理をする場合は必ず温度センサー付バーナを使用する



*火災予防のためにお守りください。調理油は油の温度が非常に高くなると、直接火が入らなくても発火します。

なべ底の中心を温度センサーの頭部に密着させる

なべ底と温度センサーの間には隙間や異物がないようにしてください。また、安定性の悪いなべは使用しないでください。



温度センサーとなべ底の密着する部分はいつも清潔にしておく



汚れが付着すると、温度センサーがなべ底の温度を正しく感知できず、発火の原因になります。(温度センサーのお手入れ18ページ参照)



温度センサーに強い

ショックやキズを与えない

温度センサーが故障する原因となります。

温度センサーが上下に動くか確認する

温度センサーを押してみてスムーズに上下に動くか確認してください。温度センサーの動きが悪いと機能が正しく働かない場合があります。お手入れしても温度センサーの動きが悪いときはお買い上げの販売店かお近くの東邦ガス営業所までご連絡ください。

⚠️警告

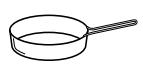
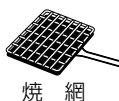
■揚げものの調理には200ml以上のお油を入れる

過熱による発火を防止するために、調理中も常に200ml以上の油量を保ってください。

■なべの重さは調理物を含んで300g以上とする

■温度センサーに適したなべを選ぶ

○…適する ×…適さない

なべなどの種類	油料理	その他の料理 (煮物など)	備考
鉄、アルミ製  なべ  天ぷらなべ  フライパン	○	○	調理油の量が200ml以下の場合、発火することがあります。
ステンレス、ホーロー製  なべ  フライパン	×	○	調理油の量が200ml以上でも、なべ底の構造や厚み、凹凸によっては、発火することがあります。
 中華なべ  打ち出しなべ	×	○	
 耐熱ガラスなべ  土なべ  圧力なべ	×	○	油料理には適していません。発火することがありますので使用しないでください。
 焼網		×	消火することができます。

おねがい

- 温度センサー付バーナは調理によっては途中で消火してしまう場合があります。また、なべを持ち上げるなど、なべが温度センサーから離れる調理も途中で消火することがあります。このようなときは、チャオバーナをお使いください。

<途中消火してしまう調理の例>

焼網を使う調理・炒りもの調理・ワインナー炒め
耐熱ガラスなべや土なべを使う煮物など



- 焦げつき消火機能が付いていても調理によってはひどく焦げついてしまう場合があります。焦げつきやすい調理の場合、弱火でようすを見ながら調理してください。

<焦げつきやすい調理の例>

水分が少なく、調味料が多い調理
カレーやシチューの再加熱

おしさせサインについて

■おしさせサインは下記のことをおしさせしています。

おしさせサイン	おしさせ内容	処置方法／参照ページ
★ 2回点滅（15分間） 	調理油過熱防止機能が作動した	11
	焦げつき消火機能が作動した	11
☀ 1回点滅（15分間） 	消し忘れタイマーが作動した	こんろ 10 グリル 15
● 点灯	電池が消耗している	6・13（下記）

電池交換について

こんろまたはグリル使用時に、おしさせサインが点灯したときは電池が消耗していますので、新しい乾電池（アルカリ乾電池 単1形 1.5V 2個）と交換してください。（6ページ参照）そのままにしておくとパチパチと放電していてもこんろとグリルは使えなくなります。

- 電池が消耗してくると安全装置が作動しなくなるので、操作ボタンを押したとき点火しても、安全のため、手を離すと消火するようになります。操作ボタンを押し続ければ点火していますが故障の原因となりますのでおやめください。
- 電池がすっかり消耗したときは、おしさせサインの点灯はしません。

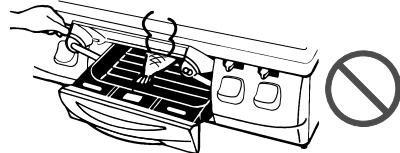
グリルの使いかた

△注意

グリルを使用するときは必ずグリル水入れ皿に水を入れ、
使用中は常に水のある状態を保つ。グリル使用後は必ずお手入れする
→グリル水入れ皿にたまつた脂や、調理物が燃えて機器焼損の原因になります。

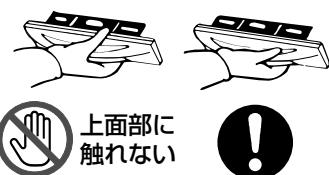
グリル使用中はグリル扉を開けたままにしない

→あふれた熱気により、トッププレートやつまみ・ボタンが過熱され、や
けどや変色・変形の原因になります。



グリル使用中、使用直後にグリル扉を開けた状態でこんろ操作をしない

→熱くなったグリル扉に手が触れてやけどをするおそれがあります。

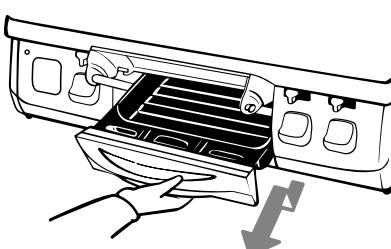


グリル使用中、使用直後にグリル取っ手上面部(特に金属部)に触れない

→高温のためやけどをするおそれがあります。

熱くなったグリル扉に水をかけない

→ガラスが割れてケガをするおそれがあります。



グリル水入れ皿の取り出しかた

中の水がこぼれないように、ゆっくりと引き出す

取りはずすときは、止まるところまで引き、少し持ち上げて引く

*最初から持ち上げた状態で引き出さないでください。止まらず
に勢いよく出てきてしまいます。

*持ち運びするときは、取っ手部をしっかりと持ってください。

焼きかたの ポイント

- 焼網に食用油を塗っておくと、魚がくっつきにくくなります。
- 魚のヒレなどこげやすい部分は厚めに塩をふるかアルミ箔で包んでおくとこ
げかたが少なくなります。

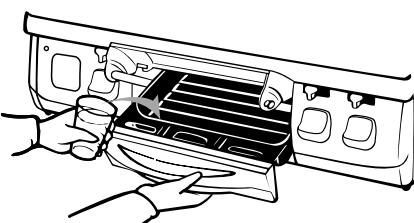
1 準備



高い位置



低い位置



①操作ボタンが押されていないことを確かめる

②ガス栓を全開にする

はじめて使うとき

- ①グリル水入れ皿にコップ1杯(約200ml)の水を入れる
- ②約15分、空焼きする
- 庫内の油を焼ききるために煙や臭いが出ても異常ではありません。

③焼網をセットする

●焼網は表裏で高さが変わります。焼物の種類、大きさにより使い
分けてください。

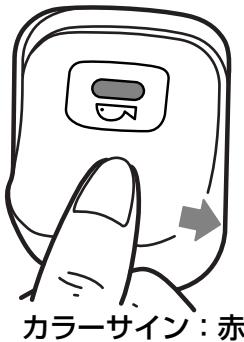
④グリル水入れ皿にコップ1杯(約200ml)の水を入れる

- 200mlの水は約20分でなくなります。
- 続けて使用するときはそのつど水を足し、脂が飛び散るようなと
きは水を入れ替えてください。

⑤グリル水入れ皿を奥までしっかりと入れる

グリルの使いかた（つづき）

2点火



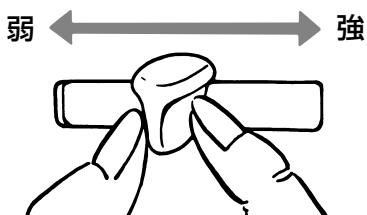
①操作ボタンをゆっくりいっぽいまで押す

●カラーサインは操作ボタンの状態を示します。操作ボタンが押してあるときは「赤」に、押していないときは「白」に変わります。

②バーナ全体に点火したことを確認する (点火確認ミラーを利用すると便利です。)

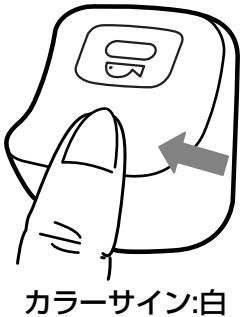
③3分ほど予熱をしてから材料をのせる

3火力調節



①材料に合わせて火力を調節する

4消火



①操作ボタンを押す

●消火を確かめてください。

②ガス栓を閉める

③グリル水入れ皿のお手入れをする

おねがい

グリル水入れ皿を急に水で冷やさないでください。変形するおそれがあります。

■グリルには次の安全装置が付いています。

安全装置の種類	機能説明	処置方法 (消火に気づいたときは…)
立消え安全装置	ふいに炎が消えたときに自動的にガスを止めます。	すぐに操作ボタンを押して消火状態にしてください。炎が消えてからガスが止まるまでしばらく時間がかかります。再点火するときは周囲にガスがなくなるのを待ってください。
消し忘れタイマー	万一の消し忘れのために、点火後、約22分経過すると自動的にガスを止めます。 (おしらせサイン…1回点滅)	操作ボタンを押して消火状態にします。連続して使うときは、一旦消火してグリル水入れ皿に水を追加し、しばらく待ってから再度点火してください。

点検とお手入れ

点検とお手入れはガス栓を閉め、機器が冷えてから行ってください。(機器が冷えるまで時間がかかります。)

- 日常の点検・お手入れは必ず行ってください。
- 故障または破損したと思われるものは使用しないでください。
- 「故障かな?と思ったら」(20ページ)を参照していただき、処置に困る場合はお買い上げの販売店かお近くの東邦ガス営業所にご相談ください。お客様自身での修理は絶対にしないでください。
- 安全にお使いいただくために定期的に点検を受けられることをおすすめします。(有料)

点検のポイント

*点検は常時行ってください。

機器のまわりに可燃物等
はありませんか?

機器のまわりに可燃物や
障害物がないようにして
ください。

(3・7ページ参照)

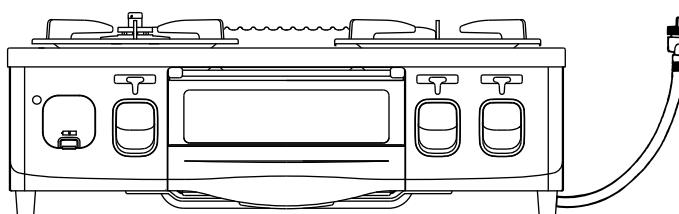
各部品正しくセットされ
ていますか?

バーナキャップ、しる受け皿、ごとくなど左右前
後正しくセットされてい
るか確認してください。

(6ページ参照)

ゴム管は正しく接続され
ていますか?
古くなっていますか?

赤い線までしっかりと差し込
み、ゴム管止めで止めてく
ださい。古くなるとひび割
れしたり、差し込み口がゆ
るくなります。早めに取り
替えてください。
(8ページ参照)



乾電池は消耗していませんか?

操作ボタンを押してください。
おしらせサインが点灯したときは新しい乾電池と交換してください。
*乾電池の寿命は通常の使いかたで約1年
です。ただし、付属の乾電池は工場出荷
時に納められたもので、自己放電のため
寿命が短くなっている場合があります。
また、マンガン乾電池を使用の場合は寿
命が短くなります。
(6・13ページ参照)

汚れていませんか?

煮こぼれやグリル使用後な
どで機器が汚れているとき
はお手入れしてください。
温度センサーを押してみて
スムーズに上下に動くか確
認してください。汚れが詰
まっていると動きが悪くな
り、温度センサーが正しく
働かない場合があります。
(17~19ページ参照)

ガス臭くありませんか?

ガス栓を開け、ゴム管の
接続部からガスの臭いが
しないことを確かめてく
ださい。

(20ページ参照)

グリルの使いかた

お点
手検
入と

点検とお手入れ

お手入れのしかた

- 機器や取りはずした部品は落とさないように気を付けてください。けがや故障の原因になります。
- お手入れの後は各部品正しくセットされているか確認をしてください。 (6ページ参照)

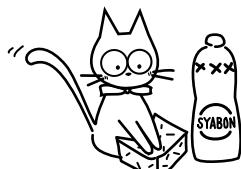


お手入れは手袋をはめてする

→はめないと機器の角などでけがをするおそれがあります。

グリル庫内や本体内部をお手入れする際は各部品の突起物等に注意する

→力強く当たった場合、手をけがすることがあります。



お手入れには台所用中性洗剤をお使いください。

おねがい

シンナー、ベンジンや酸性・アルカリ性洗剤は使わないでください。
機器損傷の原因になります。また、印刷・塗装面にはみがき粉、たわしなどの固いものは使わないでください。表面を傷付けます。

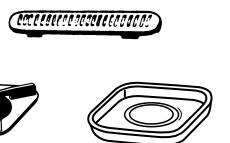
ごとく、しる受け皿、グリル排気口カバー

汚れたときは台所用中性洗剤で水洗いし、水気をふき取る

*汚れはそのつどお手入れしてください。そのままにしておくと汚れが落ちにくくなり早くいたみます。

*グリル排気口カバーを外して、機器内部に落ちた野菜くずを取り除いてください。

●お手入れの後は正しくセットしてください。 (6ページ参照)

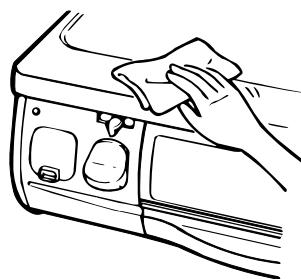


トッププレート

汚れたときは乾いた布で汚れをふき取る

●汚れの落ちにくいときは使用後のあたたかいうちに台所用中性洗剤でお手入れし、乾いた布で水気をふき取ってください。

おねがい *汚れはそのつどお手入れしてください。
そのままにしておくと、汚れが落ちにくくなります。



フッ素コートトッププレートについて

- お手入れにはスポンジや布などのやわらかいものをお使いください。ナイロンたわし、金属たわし、みがき粉などの固いものは表面をキズ付けるので使わないでください。
- スポンジでもとれないしつこい汚れは乾いた布や柔らかい紙をお使いください。
- 中性洗剤以外の先剤(レンジクリーナー、漂白剤などのアルカリ性洗剤)は使わないでください。フッ素コートをいため、シミや変色の原因になります。
- 汚れたままにしておくとシミになることがあります。
- 長期間のご使用によりフッ素コートが変色することがありますがフッ素の効果には影響ありません。

バーナキャップ

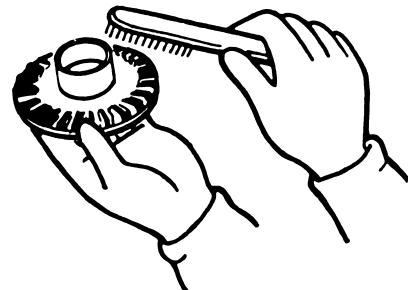
炎が不ぞろいになったときは
あなやみぞを金属ブラシや釘などで掃除する

* 目づまりをすると点火不良や不完全燃焼の原因になります。

△注意

水洗いしたときは水気を十分ふき取る

→水滴がバーナに落ちて目づまりし、点火不良になることがあります。



●お手入れの後は浮き・傾きのないようにセットしてください。(6ページ参照)

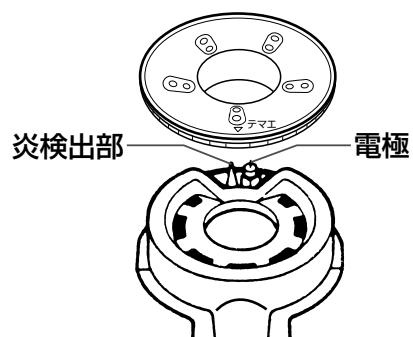
炎検出部、電極

汚れや水気が付いたときはやわらかい布でふき取る

* 汚れや水気が付いていると点火しにくくなります。

おねがい

取り付け位置を動かしたり、キズを付けないでください。
故障の原因になります。



温度センサー

温度センサーが汚れたときは温度センサーに片手を添えて水気を
固くしぼった布で汚れをふき取る

* 汚れが付いていると温度センサーの感度が悪くなります。

△注意

温度センサーを押してみてスムーズに上下に動くか確認する
→ 温度センサーの動きが悪いと機能が正しく働かない場合が
あります。お手入れしても動きが悪いときはお買い上げの
販売店かお近くの東邦ガス営業所・サービスセンターまで
ご連絡ください。



おねがい

温度センサーにキズを付けないでください。故障の原因にな
ります。



温度センサーは側面の汚れ
もふき取ってください。

お手入れ
点検

点検とお手入れ

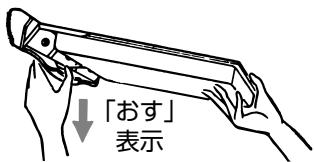
グリル水入れ皿、グリル取っ手、焼網

お使いのたびに台所用中性洗剤で水洗いし、水気をふき取る

* グリル水入れ皿は汚れたままお使いになると、こびりついた脂汚れが発火するおそれがあります。

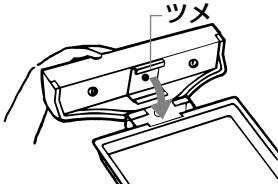
- グリル水入れ皿と取っ手は取りはずしてお手入れすることもできます。

取りはずしかた

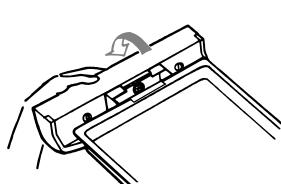


「おす」を↓の方向に押して
はずす

取り付けかた



①ツメをグリル水入れ皿に
はめ込む



②グリル取っ手をおこす

- 「おす」表示の部分がはまり、
固定されます。

グリル扉

汚れたときはスポンジ、布などのやわらかいもので汚れをふき取る

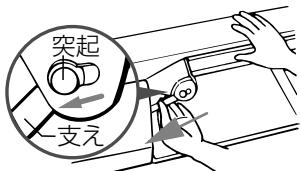
- グリル扉は取りはずしてお手入れすることもできます。

おねがい

- グリル扉のガラスはみがき粉、金属たわしなどを使わないでください。ガラスが割れる原因になります。
- グリル扉や支えは変形させないようにしてください。変形するとグリル扉の閉まりや取り付けが悪くなる原因になります。

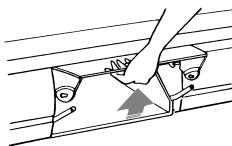
取りはずしかた

先にグリル水入れ皿を引き出しておいてください。

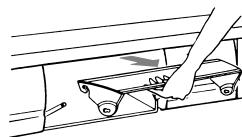


①支えを動かして突起を大きい
穴に合わせ、内側にはずす

- 他方も同じようにします。



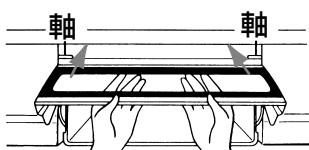
②グリル扉をいっぱいに開く



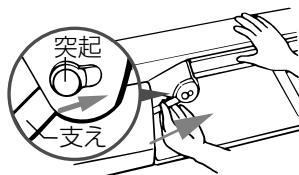
③強く引っ張る

- カンタンにはずれます。

取り付けかた



①2つの軸の上をすべらせるようにして差し込む
● グリル扉が軸にはまります。



②支えを動かして、突起を大きい穴からはめ込む
● 他方も同じようにします。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、次のことをお調べください。

下記の現象に当てはまらないとき、また処置をしてもなお異常があるときは、お買い上げの販売店かお近くの東邦ガス営業所までご連絡ください。

現 象	原 因	処置方法	参照 ページ
点火しない	ガス栓の開き不十分	ガス栓を全開にする	9・14
	乾電池が消耗している	新しい乾電池と交換する	6・13
	乾電池または電池ケースの取り付けが悪い	正しくセットする	6
	ゴム管の折れ曲がり、つぶれ	ゴム管の折れ曲がりを直す	8
	ゴム管の接続不十分	ゴム管を確実に接続する	8
	バーナ炎口の水滴や汚れによる目づまり	バーナキャップのお手入れをする	18
	バーナキャップのセット不良	正しくセットする	6
	しる受け皿のセット不良	正しくセットする	6
	ゴム管内に空気が残っている	点火操作を繰り返す	9
	点火操作が不適切	操作ボタンを押す時間を長くする	9・15
点火しにくい	炎検出部・電極が水ぬれしたり汚れている	炎検出部・電極のお手入れをする	18
	アルミ箔のしる受け皿を使っている	アルミ箔のしる受け皿を使わない	5
	温度センサーとなべ底が正しく接触していない	温度センサーとなべ底を正しく接触させる	11・12
	安全装置が働いた	安全装置が作動したときの処置方法を参照する	10 11・15
	乾電池が消耗している	新しい乾電池と交換する	6・13
おしらせサインが点灯する	安全装置が作動した	操作ボタンを押し、消火状態にする (おしらせサインは15分間点滅)	10・11 13・15
黄色の炎で燃える 炎が安定しない 異常な音をたてて燃える	バーナ炎口の水滴や汚れによる目づまり	バーナキャップのお手入れをする	18
	バーナキャップのセット不良	正しくセットする	6
	しる受け皿のセット不良	正しくセットする	6
ガスのいやな臭いがする	ゴム管の接続不十分	ゴム管を確実に接続する	8
	ゴム管のひび割れ、穴あき	新しいゴム管と交換する	8
	バーナキャップのセット不良	正しくセットする	6

故障ではない場合	理 由
点火・消火のときに「ボッ」という音がする	点火音・消火音で、異常ではありません。
使用中「シャー」という音がする	ガスの通過音で、異常ではありません。
グリル扉がはずれた	お手入れのために、グリル扉は取りはずせるようになっています。 (取り付けかた 前ページ参照)

お手入れ
点検と

故障?

保管とアフターサービス

■保管(長期間使わないとき)

- ①ガス栓を閉め、ゴム管をはずし、ガス栓のゴム管口にキャップを取り付ける
- ②ごみ・ほこりが入らないようにビニールやテープ等で機器のゴム管口をふさぐ
- ③汚れを取り除く（17～19ページ参照）
- ④乾電池を取りはずす
- ⑤箱またはビニール袋等に入れて、湿気やほこりの少ないところに保管する

■アフターサービスについて

点検・修理を依頼されるとき

前ページ「故障かな？と思ったら」を見てもう一度確認し、それでも直らないときは、お買い上げの販売店またはお近くの東邦ガス営業所までご連絡ください。

アフターサービスをお申しつけのときはお知らせください。

- 1.品名 P-3VF7-L, P-3VF7-R
- 2.型式名（銘板表示のもの PA-Z33FE-L, PA-Z33FE-R）
- 3.故障または異常の内容（できるだけ具体的に）
- 4.ご住所・ご氏名・電話番号
- 5.お客様番号（ガスの検針票に記入されています。）

製造年月について

製造年月は本体右側面に貼り付けの銘板でお確かめください。



〈例〉



保証について

この機器には保証書がついています。当社は保証書に記載してあるように、機器の販売後機器に故障がある場合、一定期間と一定条件のもとに無料修理に応ずることを約束いたします。（詳細は保証書をご覧ください。）保証書を紛失されると無料修理期間であっても、修理費をいただく場合がありますので、大切に保管してください。

連絡先

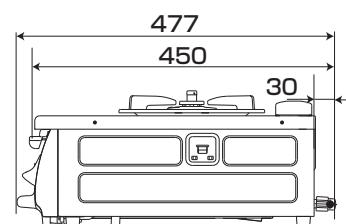
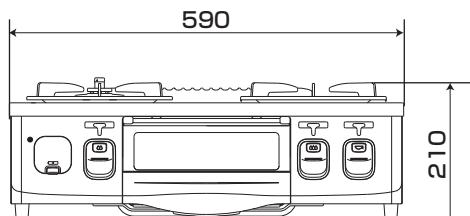
転居等によりガスの種類が変わるとき、その他ご不明の点は、お買い上げの販売店またはお近くの東邦ガス営業所までご連絡ください。

仕様

*本仕様は改良のためお知らせせずに変更することもあります。

品名	P-3VF7-L	P-3VF7-R	質量(本体)	10.0kg
型式名	PA-Z33FE-L	PA-Z33FE-R	ガス接続	φ9.5mmガス用ゴム管
種類	ガスグリル付こんろ		安全装置	立消え安全装置・排気口遮炎装置 調理油過熱防止装置（天ぷら油過熱防止機能）・ 焦げつき消火機能・消し忘れタイマー
点火方式	連続放電点火			
外形寸法	高さ210×幅590×奥行477mm			
使用ガス ガスグループ	ガス消費量 kW			
	チャオバーナ	標準バーナ	グリル	全点火時
都市ガス用 13A	4.65	2.67	2.09	9.07

■外形寸法図 (単位:mm)



保証書

品名	ガステーブル	P-3VF7-L・P-3VF7-R
----	--------	-------------------

このたびは当社製品をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。この保証書は東邦ガス供給区域内において都市ガス用として、ご使用になる場合本証書記載内容で無料修理をお約束するものです。万一故障いたしましたときは、本書をご提示の上、お買い上げの販売店かお近くの東邦ガス営業所に修理をご依頼ください。

無料修理保証期間

本体	(お買い上げ日より)	1年
----	------------	----

保証期間中でありましても次の場合は有料修理といたします。

- (イ) 取扱説明書によらないでご使用になり故障した場合。
- (ロ) お買い上げ後の取付場所の移動、落下等による故障および損傷。
- (ハ) 火災、天災、地変等による故障、その他不可抗力による故障。
- (ニ) お買い上げの販売店、あるいは東邦ガスに、ご連絡なしに改造された場合の故障。
- (ホ) 機器に表示してある以外のガスでご使用のため改造された場合。ただし当社都合の場合はのぞきます。
- (ヘ) 本書を紛失された場合。

お買い上げ日	平成 年 月 日
--------	----------

販売店	住所・店名 電話()
-----	----------------

保証責任者 東邦ガス株式会社
名古屋市熱田区桜田町19番18号
電話(052) 871-3511

修理記録

年月日	修理内容	サービス員印

お客様へ

1. この保証書をお受け取りになるときに販売年月日、販売店名が記入してあることを確認してください。
2. 本証書は再発行いたしませんので紛失されないよう大切に保存してください。
3. 無料修理期間経過後の故障修理等につきましては取扱説明書をご覧ください。
4. この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。
5. 無料修理やアフターサービス等について、ご不明の場合はお買い上げの販売店かお近くの東邦ガス営業所にお問い合わせください。

お問い合わせ先一覧

●お電話でのお問い合わせ

ご連絡は、平日の午前9時から午後7時までにお願いします。

①東部支社、北部支社、西部支社、南部支社地区のお客さまは「お客さまセンター」でお電話を承ります。

また、4支社地区の営業所にお電話いただきますと「お客さまセンター」につながります。

②三重支店地区、岐阜支店地区、岡崎支店地区のお客さまのお電話は各支店・営業所で承ります。

東部支社 : サービスエリア (市区町村)	電話番号	担当営業所
千種区 昭和区 名東区 天白区	052-781-6131	星ヶ丘
豊田市 藤岡町 三好町	0565-32-3070	豊田
瀬戸市 尾張旭市	0561-82-6105	瀬戸
日進市 東郷町 長久手町	052-802-1234	日進
北部支社 : サービスエリア (市区町村)	電話番号	担当営業所
北区 東区 西区 守山区 師勝町 豊山町 西春町	052-902-1111	北
春日井市	0568-31-6144	春日井
小牧市 岩倉市 犬山市 大口町 江南市 扶桑町 可児市 多治見市 土岐市	0568-73-1551	小牧
西部支社 : サービスエリア (市区町村)	電話番号	担当営業所
中区 中村区 中川区 港区 新川町 清洲町 西枇杷島町 春日町 大治町 七宝町 美和町 甚目寺町 津島市 佐織町 蟹江町 飛島村 十四山村 木曽岬町 長島町 大安町 員弁町	052-471-1151	中村
一宮市 木曽川町 稲沢市 平和町 祖父江町 尾西市 羽島市	0586-73-0101	一宮
南部支社 : サービスエリア (市区町村)	電話番号	担当営業所
瑞穂区 南区 熱田区 緑区 豊明市	052-821-7141	笠寺
刈谷市 知立市 安城市 西尾市 蒲郡市 高浜市 碧南市	0566-21-1647	刈谷
半田市 武豊町 阿久比町 東浦町 常滑市	0569-21-1526	半田
東海市 知多市 大府市	0562-32-2101	東海
三重支店地区 : サービスエリア (市区町村)	電話番号	担当営業所
四日市市 桑名市 鈴鹿市 朝日町 川越町	0593-53-9151	四日市
津市 久居市 安濃町 河芸町	059-228-7161	津
伊勢市 御園村	0596-28-9101	伊勢
松阪市 嬉野町 三雲町	0598-51-5518	松阪
岐阜支店地区 : サービスエリア (市区町村)	電話番号	支店・営業所
岐阜市 笠松町 柳津町 岐南町 北方町 糸貫町 真正町 穂積町 大野町 高富町	058-272-8001	岐阜
各務原市	0583-84-0588	各務原
岡崎支店地区 : サービスエリア (市区町村)	電話番号	支店
岡崎市 音羽町 幸田町	0564-21-2231	岡崎

●FAXでのお問い合わせ

①東部支社、北部支社、西部支社、南部支社地区

お客さまセンターFAX (052)847-1940

②三重支店地区 四日市営業所

FAX (0593)52-3150

津営業所

FAX (059)228-7176

伊勢営業所

FAX (0596)28-8176

松阪営業所

FAX (0598)51-8344

③岐阜支店地区 岐阜支店

FAX (058)276-3845

各務原営業所

FAX (0583)70-0466

④岡崎支店地区 岡崎支店

FAX (0564)21-3635

※電話番号については、平成15年3月1日現在のものです。ご通知なしで変更する場合がありますので、ご了承ください。